

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	商工部企業立地課	■担当係	企業立地係
■評価事業名称	岩手県企業誘致推進委員会負担金		
■事業開始年度			
■評価事業コード	060300 - 025	■会計区分	工業団地特別会計
■総合計画での位置づけ	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり	
	■基本施策	02 活気ある商工業と観光の振興	
	■施策	02 足腰の強い地域産業構造の構築	
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの		
■法令等の名称			
■関連計画の名称			
■事業の目的と概要	岩手県を中心に、県内市町村が参加して企業誘致を推進するための協議会に対する負担金□企業誘致を図るため、企業立地情報及び工業等導入支援情報の提供を受ける。企業ネットワークいわての開催、北上市企業誘致説明会の後援、企業立地情報の提供		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成29年度事業計画	平成29年度事業量実績
01	岩手県企業誘致推進委員会負担金	立地を検討している企業	①総会及び研修会への参加 ②企業ネットワークいわてへの参加	①総会及び研修会への参加 各1回②企業ネットワークいわてへの参加(東京・大阪会場) 各1回

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
直接事業費	350	350	350	350	
人件費	81			76	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	431	350	350	426	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	指標の説明
	1企業当たりコスト	61,571円	87,500円	175,000円	85,200円	
	1回当たりコスト	215,500円	175,000円	175,000円	213,000円	
	誘致企業数	7社	4社	2社	5社	

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

企業誘致説明会の開催回数	2回	2回	2回	2回	東京と名古屋又は大阪において企業誘致説明会開催時に後援
--------------	----	----	----	----	-----------------------------

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

委員会主催の誘致説明会に参加することで、接点のない企業と接触することができている。

問題点・課題等

特になし

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

4. 市民生活・企業活動への影響

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持の向上に必要
- 市民生活・企業活動の維持の向上への影響は少ない

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了